

# 行政改革の重要課題事業一覧【第1弾】

## 受益者負担の割合の見直し

H29度試算

No	事業名	収支の概要と課題	1人当りの 支出額	利用者数	支出	収入
2	学校プール開放事業	<p>支出(約430万円)に対して、 収入(受益者負担 17,000円)が少ない 長小及び南小で25日間程度の開放 大人100円 中学生以下無料</p> <p>収入÷支出=0.39%</p> <p>見直しの例 利用者全員を有料化した(100円)場合 (負担割合) 2,326人×100円 = 232,600円(5.4%)</p>	1,850円	2,326人	4,302,720円	17,000円

**行政改革の重要課題 事業名**

**学校プール開放事業**

**【行政改革指針の重点課題項目】**

- ・1 経営改革の推進
  - (1) 受益者負担の適正化
  - (2) 民間活力活用
- ・2 財政改革の推進
  - (2) 既存事業の見直し

**取組の内容**

令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
①料金改定、運用の見直しの検討、方針決定		②新たな運用の実施		
→		→		
① 料金改定、運用の見直しの検討、方針決定		利用状況の詳細を調査し、現状を分析する。この結果を踏まえ、料金改定、運用の見直しの方針を決定する。		
② 新たな運用の実施		決定した方針に基づいた運用を実施する。		
※ その他		検討にあたっては、『いつ、誰が、何を検討した』かについて、記録しておくこと。 料金改定を前提に事務を進めること。 料金改定にあたっては、「使用料及び手数料の適正化に関する方針(案)」を参考に料金設定すること。		